

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

特別会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	おむつ給付金（本庁）			事業番号	011-070
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—				
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—		
		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—		
		寄与するKPI	無	取組	—				

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 2 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	介護保険法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	65歳以上で要介護4～5の市民税非課税世帯に属する高齢者	対象数	単位
			約12,000	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	自宅等で紙おむつを使用する高齢者の福祉の向上及び介護の負担軽減を図る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ・給付券（月額上限6,500円）を年12枚交付（3月、6月、9月、12月）。 ・毎月1回、登録業者が対象者に紙おむつを給付（業者が各対象者宅に配達） 		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	登録事業者		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	自宅等で紙おむつを使用する高齢者の福祉の向上及び介護の負担軽減を図ること					
	当該目標を設定した理由	当事業は対象要件に該当する高齢者の福祉の向上及び介護の負担軽減を目的とした事業のため。				
	目標に対する実績	紙おむつの給付により高齢者の福祉の向上及び介護の負担軽減を図ることができた。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	支給延人数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	—	—	—
			実績値	33,936	27,338	
			達成率	—	—	
当該指標を選定した理由	支給延人数を指標に選定することにより、事業利用者数の経年比較など事業実績を把握できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	申請状況により人数が増減することから目標の設定はなじまないが、実績として支給延人数を計上している。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	おむつ給付金（本庁）	事業番号	011-070
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	302,004	224,757	210,458	178,447	153,877
13 財源					
国支出金	116,272	86,531	81,026	68,702	59,243
府支出金	58,136	43,266	40,513	34,351	29,621
市債			0	0	0
内 其他（第1号被保険者保険料）	69,461	51,694	48,406	41,043	35,392
内 受益者負担金(使用料、手数料等)			0	0	0
内 一般財源	58,135	43,266	40,513	34,351	29,621
14 人件費 (b)	2,340	2,340	2,360	2,360	2,340
15 年間経費(c)=(a)+(b)	304,344	227,097	212,818	180,807	156,217

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源		
								R4	決算
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R4	決算	2,012	388	R4	決算		
		R5	予算	2,022	389	R5	予算		
	期末手当（会計年度任用職員）	R4	決算	421	82	R4	決算		
		R5	予算	422	81	R5	予算		
	費用弁償（通勤費）	R4	決算	112	21	R4	決算		
		R5	予算	156	30	R5	予算		
	印刷製本費	R4	決算	80	15	R4	決算		
		R5	予算	80	15	R5	予算		
	市単独扶助費	R4	決算	175,822	33,845	R4	決算		
		R5	予算	151,197	29,106	R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 支給延人数	人	33,936	27,338
② 上記①にかかる年間経費	千円	227,097	178,447
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	6,692	6,527
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年4月1日より次の内容について制度改正を行ったため、令和3年度以降支給額が減少しており、また、制度改正時に入院中で経過措置中であつた者が退院し支給対象から外れるなどの要因により支給対象者が減少したことで、令和3年度に比べ支給延べ人数が減少した。

【制度改正内容】

①月額上限金額を9,000円から6,500円に変更。

②対象要件の変更（改正前：要介護3～5及び入院中も対象/改正後：要介護4～5のみ対象とし、要介護3及び入院中は対象外。ただし、経過措置として、令和3年3月31日までに当事業の利用申請を行った場合は、月額上限を6,500円として、要介護3及び入院中の給付も継続して行う。）

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 月額上限金額の引き下げ及び対象要件の見直しにより給付額は減少したものの、自宅等で紙おむつを使用する高齢者の福祉の向上及び介護の負担軽減を図ることに寄与するものであり、基本計画の取組の方向性に合致するものである。